



平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東 福

上場会社名 トラストパーク株式会社
コード番号 3235 URL <http://www.trustpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 靖司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 矢羽田 弘

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日

TEL 092-437-8944

平成25年2月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	3,108	△12.7	△22	—	△95	—	△84	—
24年6月期第2四半期	3,560	△18.2	213	△58.4	148	△69.2	48	△80.1

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 △83百万円 (—%) 24年6月期第2四半期 47百万円 (△80.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	△1,737.54	—
24年6月期第2四半期	1,084.25	1,039.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第2四半期	9,197	706	7.7	15,036.67
24年6月期	8,084	819	10.1	17,903.04

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 706百万円 24年6月期 819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	820.00	—	820.00	1,640.00
25年6月期	—	820.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	820.00	1,640.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	16.4	750	23.9	600	24.4	320	47.7	6,988.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当するものであります。
詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期2Q	51,320 株	24年6月期	45,790 株
② 期末自己株式数	25年6月期2Q	4,330 株	24年6月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期2Q	48,460 株	24年6月期2Q	44,545 株

(注) 期末自己株式数は、株式付与ESOP信託が所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に回復の兆しが見られるものの、世界景気の減速懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、新規駐車場の開発等についての競合が激しさを増してはいますが、着実に回復の兆しを見せております。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、引き続き新規駐車場の開発に注力した結果、当第2四半期連結会計期間末の駐車場数は、前年同期より35ヶ所増の650ヶ所、車室数は1,028車室増の24,637車室となりました。

不動産等事業におきましては、当第2四半期連結累計期間においては新築マンションの竣工がありませんでしたが、前連結会計期間末にて残3戸となっております「トラスト玉名カルディオ（熊本県玉名市）」の引渡しを平成24年9月までに実施、全戸完売となりました。

なお、当連結会計期間は新築マンション3棟「トラストネクサス木町ウイングレジデンス（北九州市小倉北区、平成25年2月竣工予定）」、「トラスト大津ネクサージュ（熊本県菊池郡、平成25年2月竣工予定）」、「トラスト八女カルディオ（福岡県八女市、平成25年4月竣工予定）」の竣工、引渡しを計画しております。

新築マンションの竣工時期が、全て第3四半期連結会計期間以降となっておりますので第2四半期連結累計期間までは不動産販売関連の経費等を先行して負担することにより経常損失となる計画としておりますが、年度計画においては経常利益600,000千円を確保する計画としております。

以上の結果、売上高は3,108,934千円（前年同期比12.7%減）、営業損失22,061千円（前年同期は213,846千円の営業利益）、経常損失95,375千円（前年同期は148,103千円の経常利益）、四半期純損失は84,201千円（前年同期は48,298千円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

① 駐車場事業

新規駐車場開発の強化を継続的に行ってきた結果、当第2四半期連結累計期間において、新規駐車場の開発数は56ヶ所、1,160車室となった一方で、加盟店方式を中心とする新規駐車場開発を一層促進するために営業人員を増強させたことにより人件費を中心とする経費は増加しました。

以上の結果、売上高は2,909,885千円（前年同期比4.0%増）、営業利益160,431千円（同17.2%減）となりました。

② 不動産等事業

前第2四半期連結累計期間は新築マンション1棟「トラストネクサス虹ヶ浜（山口県光市）」の竣工、引渡しを実施したのに対し、当第2四半期連結累計期間においては新築マンションの竣工がありませんでしたが、前連結会計期間末にて残3戸となっていた「トラスト玉名カルディオ（熊本県玉名市）」の引渡しを実施、全戸完売となりました。

また、不動産特定共同事業法に基づく不動産（駐車場）小口化商品の第1号商品である「トラストパートナーズ中呉服町」の販売を実施、平成24年11月に完売となりました。

以上の結果、売上高152,847千円（前年同期比79.2%減）、営業損失167,588千円（前年同期は48,963千円の営業利益）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、平成23年7月より開始したJR博多駅前における大型ビジョンの運営及び平成23年8月より本格参入した警備事業において順調に契約を確保してまいりました。

以上の結果、売上高46,201千円（前年同期比67.0%増）、営業損失14,421千円（前年同期は30,180千円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,252,577千円増加し、4,621,356千円となりました。これは主に、前払費用の増加81,389千円、前渡金の増加50,000千円、仕掛販売用不動産の増加1,110,576千円等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比較して140,184千円減少し、4,575,964千円となりました。これは主に、保有目的の変更により土地が107,422千円減少、償却によりのれんが27,784千円減少等によるものであります。

この結果、総資産は9,197,320千円となり、前連結会計年度に比べ1,112,393千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,117,360千円増加し、3,922,619千円となりました。これは主に、短期借入金の増加721,800千円、1年内返済予定の長期借入金の増加506,058千円、未払法人税等の減少158,285千円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比較して108,239千円増加し、4,568,128千円となりました。これは主に、長期借入金の増加124,080千円、リース債務の減少24,185千円等によるものであります。

この結果、負債合計は8,490,747千円となり、前連結会計年度に比べ1,225,600千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して113,207千円減少し、706,573千円となりました。これは主に、資本金及び資本準備金の増加153,622千円、自己株式の取得145,365千円、配当金の支払37,547千円、四半期純損失の計上84,201千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は7.7%（前連結会計年度は10.1%）となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し34,804千円減少し、983,676千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、1,204,439千円（前年同期は491,823千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失105,990千円を計上したことのほか、駐車場設備等の減価償却費155,949千円、のれん償却額27,784千円、駐車場設備等の減損損失10,623千円、たな卸資産の増加による支出991,967千円、仕入債務の減少88,166千円、法人税等の支払額197,512千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、76,111千円（前年同期は1,712,123千円の使用）となりました。これは主に、新規駐車場設備に係る有形固定資産の取得による支出51,687千円、新規駐車場に係る敷金の差入による支出26,600千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により取得した資金は、1,245,747千円（前年同期は2,254,662千円の取得）となりました。これは主に、短期借入れによる収入1,021,800千円と短期借入金の返済による支出300,000千円、長期借入れによる収入900,000千円と長期借入金の返済による支出269,862千円、公募増資に伴う株式発行による収入149,170千円、自己株式の取得による支出145,365千円、配当金の支払額37,367千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年8月9日に公表いたしました「平成24年6月期決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098,026	1,053,570
売掛金	118,002	137,511
有価証券	2,037	2,038
販売用不動産	285,549	281,627
仕掛販売用不動産	1,479,071	2,589,648
原材料及び貯蔵品	18,473	11,459
その他	369,287	547,770
貸倒引当金	△1,669	△2,269
流動資産合計	3,368,778	4,621,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,029,052	1,013,190
土地	2,478,292	2,370,870
その他（純額）	513,375	485,921
有形固定資産合計	4,020,720	3,869,981
無形固定資産		
のれん	254,249	226,465
その他	61,347	75,762
無形固定資産合計	315,597	302,228
投資その他の資産		
その他	380,877	404,802
貸倒引当金	△1,047	△1,047
投資その他の資産合計	379,830	403,754
固定資産合計	4,716,148	4,575,964
資産合計	8,084,927	9,197,320

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,707	50,541
短期借入金	850,000	1,571,800
1年内返済予定の長期借入金	875,834	1,381,892
未払法人税等	205,622	47,336
ポイント引当金	23,781	21,420
資産除去債務	3,670	3,670
その他	707,642	845,959
流動負債合計	2,805,258	3,922,619
固定負債		
長期借入金	3,869,653	3,993,733
退職給付引当金	19,114	24,465
資産除去債務	22,100	24,814
その他	549,020	525,115
固定負債合計	4,459,888	4,568,128
負債合計	7,265,147	8,490,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,750	418,561
資本剰余金	112,250	189,061
利益剰余金	366,221	244,472
自己株式	—	△145,365
株主資本合計	820,221	706,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△440	△154
その他の包括利益累計額合計	△440	△154
純資産合計	819,780	706,573
負債純資産合計	8,084,927	9,197,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	3,560,103	3,108,934
売上原価	2,773,604	2,421,193
売上総利益	786,499	687,740
販売費及び一般管理費	572,652	709,801
営業利益又は営業損失(△)	213,846	△22,061
営業外収益		
受取利息	361	235
受取配当金	61	91
投資有価証券売却益	—	1,935
受取解約違約金	4,704	2,180
補助金収入	1,444	2,538
その他	1,970	3,632
営業外収益合計	8,541	10,614
営業外費用		
支払利息	50,935	67,679
投資有価証券売却損	—	162
その他	23,349	16,085
営業外費用合計	74,285	83,928
経常利益又は経常損失(△)	148,103	△95,375
特別利益		
固定資産売却益	—	7
特別利益合計	—	7
特別損失		
減損損失	18,191	10,623
特別損失合計	18,191	10,623
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	129,911	△105,990
法人税、住民税及び事業税	71,786	39,803
法人税等調整額	9,826	△61,593
法人税等合計	81,613	△21,789
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	48,298	△84,201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,298	△84,201

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	48,298	△84,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△374	285
その他の包括利益合計	△374	285
四半期包括利益	47,923	△83,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,923	△83,915
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	129,911	△105,990
減価償却費	110,168	155,949
減損損失	18,191	10,623
のれん償却額	27,784	27,784
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△530	600
ポイント引当金の増減額(△は減少)	306	△2,361
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,220	5,351
受取利息及び受取配当金	△422	△326
支払利息	50,935	67,679
固定資産除却損	1,268	495
株式交付費	—	4,451
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△7
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,773
売上債権の増減額(△は増加)	△15,009	△19,239
たな卸資産の増減額(△は増加)	△952,518	△991,967
仕入債務の増減額(△は減少)	186,220	△88,166
前払費用の増減額(△は増加)	16,668	△82,288
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,589	44,077
その他	157,761	34,641
小計	△291,633	△940,468
利息及び配当金の受取額	422	326
利息の支払額	△51,633	△66,785
法人税等の支払額	△148,979	△197,512
営業活動によるキャッシュ・フロー	△491,823	△1,204,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,398	△20,108
定期預金の払戻による収入	1,200	29,758
有価証券の償還による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,675,180	△51,687
無形固定資産の取得による支出	△180	△17,731
有形固定資産の売却による収入	—	110
投資有価証券の取得による支出	△29,977	△80,191
投資有価証券の売却による収入	—	91,394
貸付けによる支出	△200	△500
貸付金の回収による収入	233	242
敷金の差入による支出	△18,053	△26,600
敷金の回収による収入	6,184	11,616
資産除去債務の履行による支出	△2,599	△2,891
その他	△150	△9,523
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,712,123	△76,111

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,177,400	1,021,800
短期借入金の返済による支出	△1,045,000	△300,000
長期借入れによる収入	2,426,600	900,000
長期借入金の返済による支出	△206,187	△269,862
割賦債務の返済による支出	△2,401	△1,206
リース債務の返済による支出	△59,482	△71,421
株式の発行による収入	—	149,170
自己株式の取得による支出	—	△145,365
配当金の支払額	△36,266	△37,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,254,662	1,245,747
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	50,715	△34,804
現金及び現金同等物の期首残高	1,007,968	1,018,480
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	24,251	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,082,934	983,676

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,798,823	733,608	3,532,432	27,671	3,560,103	—	3,560,103
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	758	—	758	8,019	8,778	(8,778)	—
計	2,799,582	733,608	3,533,191	35,691	3,568,882	(8,778)	3,560,103
セグメント利益 又は損失(△)	193,713	48,963	242,677	△30,180	212,496	1,350	213,846

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業を含んでおります。なお、第1四半期連結累計期間から当社において広告事業を新たに開始するとともに警備事業を営む非連結子会社であったタウンパトロール株式会社を新たに連結の範囲に含めたため、「その他」の区分に広告事業及び警備事業を含めております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去12,300千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△10,950千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社的一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては18,191千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,909,885	152,847	3,062,733	46,201	3,108,934	—	3,108,934
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,146	1,500	4,646	16,800	21,447	(21,447)	—
計	2,913,032	154,347	3,067,379	63,001	3,130,381	(21,447)	3,108,934
セグメント利益 又は損失 (△)	160,431	△167,588	△7,156	△14,421	△21,578	△483	△22,061

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去12,600千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△13,083千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては10,623千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

①新株の発行

当社は、平成24年9月6日を払込期日とする一般募集による新株式発行4,000株を実施したことにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ61,560千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間において新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ15,251千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が418,561千円、資本剰余金が189,061千円となっております。

②自己株式の取得

当社は、平成24年12月18日開催の取締役会における自己株式取得決議に基づき、自己株式の取得を実施し、自己株式が76,275千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間において株式付与E S O P信託契約に基づき自己株式の取得を行っており、自己株式が69,090千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が145,365千円となっております。